

感染症情報 4月2日～8日

府下小児科196医療機関(堺市17)から

①感染性胃腸炎	974例(堺市	33例)
②溶連菌感染症	329例(堺市	24例)
③RSウイルス感染症	84例(堺市	3例)
④みずぼうそう	80例(堺市	2例)
⑤突発性発疹	76例(堺市	5例)

府下インフルエンザ定点302医療機関(堺市27)から

インフルエンザ	260例(堺市	32例)
---------	---------	------

が報告された。

感染症報告数は前週比4.1%減の1,639件であった。

報告の第1位は感染性胃腸炎で、以下溶連菌感染症、RSウイルス感染症、みずぼうそう、突発性発疹の順であった。

感染性胃腸炎は府下で前週より5%減、堺市では前週より31%減であった。溶連菌感染症は府下で前週より4%減、堺市で前週30例→今回24例で20%減であった。RSウイルス感染症は府下で前週比20%増、堺市で前週5例→今回3例であった。みずぼうそうは府下で前週より16%増、堺市では前週0例→今回2例であった。

インフルエンザは府下で前週580例→今回260例で55%減、堺市では前週67例→今回32例で52%減となった。定点当たりでは前週が1.9で、今回は0.9となり、非流行期に入ったとされた。

麻疹や風疹の報告はなかった。